

中小企業景況調査報告書

令和 6 年度

第 1 回 (令和6年4月~6月期)



岡山県商工会連合会

調査要領

1 調査方法

下記調査対象商工会地区の該当企業を経営指導員が直接訪問して調査した。

2 調査時期

令和6年4月～6月期の実績（6月は見込）及び令和6年7月～9月期の見通しを対象としたこの調査は、令和6年6月1日時点で実施した。

3 調査対象

《商工会別等の区分》

商工会名	産業別、人口規模別市町村類型別内訳	企業数	業種別企業数			
			製造業	建設業	小売業	サービス業
岡山北	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	3	3	4	5
岡山西	〃	15	3	3	4	5
岡山南	〃	15	4	2	6	3
瀬戸内市	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	3	4	4
つくば	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	4	2	5	4
総社吉備路	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	3	4	4
真備船穂	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	3	3	5	4
備中西	地域産業・人口1～3万人の地区郡部	15	4	2	4	5
備北	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	2	6	3
真庭	〃	15	3	3	4	5
久米郡	地域産業・人口1～3万人の地区郡部	15	3	2	4	6
鏡野町	〃	15	2	2	5	6
合計	12商工会	180	41	30	55	54

4 DIとは

DIとはディフュージョン・インデックスの略で、企業経営者の景気動向を表す指標のことである。算出方法は増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いて計算する。DIがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）となるが、商品仕入、販売などの単価の場合は、プラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となる。

例えば、売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合は、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、売上高に対して強気（楽観）の度合いを表している。

また、商品仕入単価で上昇企業20%、不変企業30%、低下企業50%の場合は $DI = 20 - 50 = -30$ となり、商品仕入単価に対して低下気運の度合いを表している。

目 次

	頁
1 産業全体の景況概況	2
(1) 産業全体の業況	2
(2) 業種別の景況概要	2
(3) 主要4項目及び業況判断D Iの推移	4
2 製造業の景況	6
(1) 主要項目の動き	6
(2) 主要3項目の状況	7
(3) 経営上の問題点の状況	8
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	8
(5) 主要景況項目の概況	9
3 建設業の景況	10
(1) 主要項目の動き	10
(2) 主要3項目の状況	11
(3) 経営上の問題点の状況	12
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	12
(5) 主要景況項目の概況	13
4 小売業の景況	14
(1) 主要項目の動き	14
(2) 主要3項目の状況	15
(3) 経営上の問題点の状況	16
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	16
(5) 主要景況項目の概況	17
5 サービス業の景況	18
(1) 主要項目の動き	18
(2) 主要3項目の状況	19
(3) 経営上の問題点の状況	20
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	20
(5) 主要景況項目の概況	21

1 産業全体の景況概況

産業全体の業況DIは好転した。景況感には持ち直しの動きがみられるが、いずれの業種でも原材料価格や仕入単価の高止まりが重石に。小売業とサービス業では需要の停滞と利用者ニーズの変化も顕在化。

(1) 産業全体の業況

- ・産業全体の業況DIは、-16.8と好転した（前期差7.4ポイント増加）。
来期は-22.3であり、業況上昇判断が若干低下し、景況感の回復は足踏みする見通し。
- ・売上（完成工事）額DIは、前期からマイナス幅が縮小し、-15.0となった。
来期見通しは-17.8であり、マイナス幅がやや拡大する見通し。
- ・採算DIは、前期からマイナス幅が縮小し、-18.3となった。
来期見通しは-17.8であり、マイナス幅がやや縮小する見通し。

(2) 業種別の景況概要

製造業 「業況判断DI」は、-17.1、対前期比6.7ポイントの好転(P.6)

経営上の問題点	
第1位	需要の停滞、原材料価格の上昇
第3位	生産設備の不足・老朽化
第4位	製品ニーズの変化

業況判断DI値は、好転が増加、不変、悪化が減少した。主要DIの前期比較は、売上（加工）額DI、採算DI、資金繰りDI、従業員DIの全てが増加（好転）した。

建設業 「業況判断DI」は、-10.0、対前期比16.6ポイントの好転(P.10)

経営上の問題点	
第1位	材料価格の上昇
第2位	材料費・人件費以外の経費の増加
第3位	従業員の確保難

業況判断DI値は、好転、不変が増加、悪化が減少した。主要DIの前期比較は、完成工事額（請負工事）DIが減少、採算DIが好転、資金繰りDIが好転、従業員DIが増加した。

小売業 「業況判断DI」は、-31.5、対前期比5.0ポイントの好転(P.14)

経営上の問題点	
第1位	仕入単価の上昇
第2位	購買力の他地域への流出
第3位	消費者ニーズの変化への対応、需要の停滞

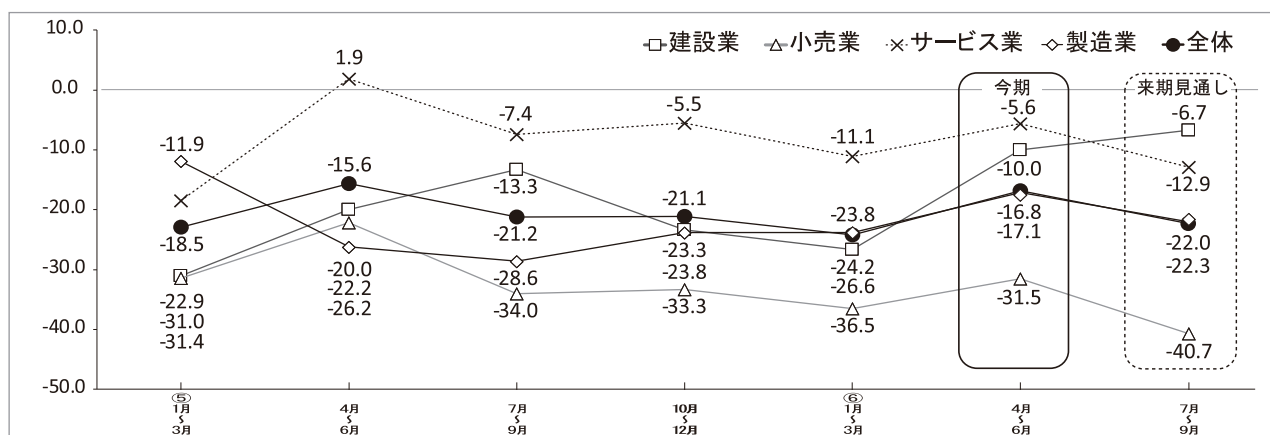
業況判断DI値は、好転、悪化が増加、不変が減少した。主要DIの前期比較は、売上額DIが増加、採算DIが好転、資金繰りDIが好転、従業員DIが減少した。

サービス業 「業況判断DI」は、-5.6、対前期比5.5ポイントの好転(P.18)

経営上の問題点	
第1位	材料等仕入単価の上昇
第2位	需要の停滞
第3位	利用者ニーズの変化

業況判断DI値は、好転が増加、不変が減少、悪化は増減なし。主要DIの前期比較は、売上（収入）額DIが増減なし、採算DIが好転、資金繰りDIが好転、従業員DIが減少した。

<図1-1>業況判断DIの推移



●調査対象企業からのコメント

製造業

- ・業況として好転しているが、材料の値上がりが懸念される。(石工品製造業)
- ・受注の減少に加えて、原材料や燃料費価格高騰分の転嫁が課題。(各種機械・同部分品製造修理業)
- ・受注は途切れずあり、稼働率が下がらない限り売上は安定しているが、設備更新・人材登用に課題がある。人・物が追加できると自ずと利益に直結する見込み。(他に分類されない衣服・繊維製身の回り品製造業)

建設業

- ・引き合いはあるものの成約に至るまでに時間を要し、条件も厳しくなっていると感じる。人件費等も上げているので経費の捻出にも頭が痛い。(木造建築工事業)
- ・遠方の現場も受注し、所有する車両や機械も多い為、燃料費が高み利益を圧迫。(一般管工事業)
- ・人手不足が一番の課題。先月で一人退職し仕事量との割合が合わない日が多い。(とび工事業)

小売業

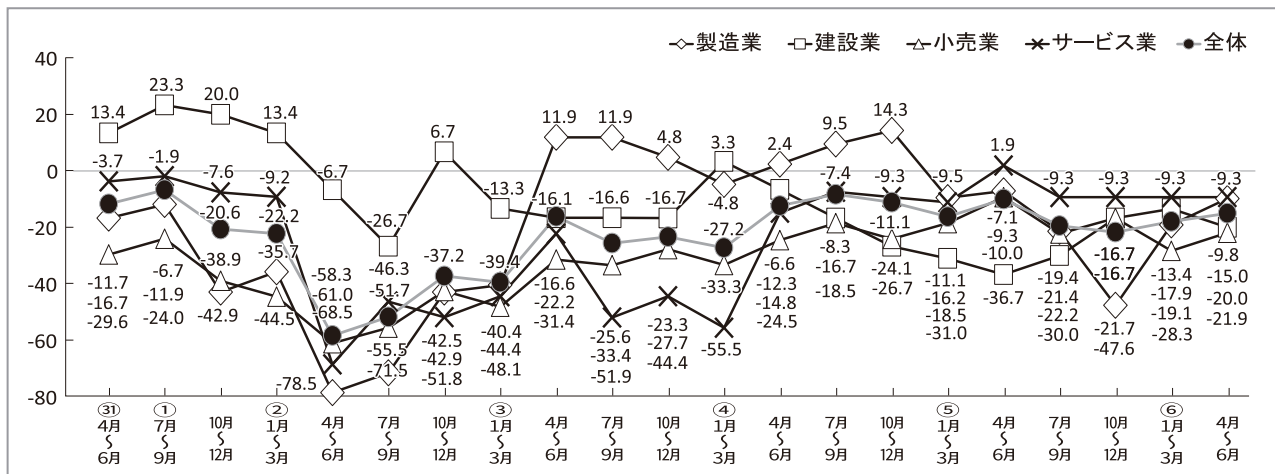
- ・売上が増加しており好転であるが、売上増加の要因に販売価格の上昇があり、仕入れ価格も高騰しているため利益は売上ほど増加していない。(各種食料品小売業)
- ・来店者が減り、特にGWはヒマだった。他のエリアに外出した人が多かった様子。(各種食料品小売業)
- ・海外製品がほとんどなので値上りは避けられない。(がん具・娯楽用品小売業)

サービス業

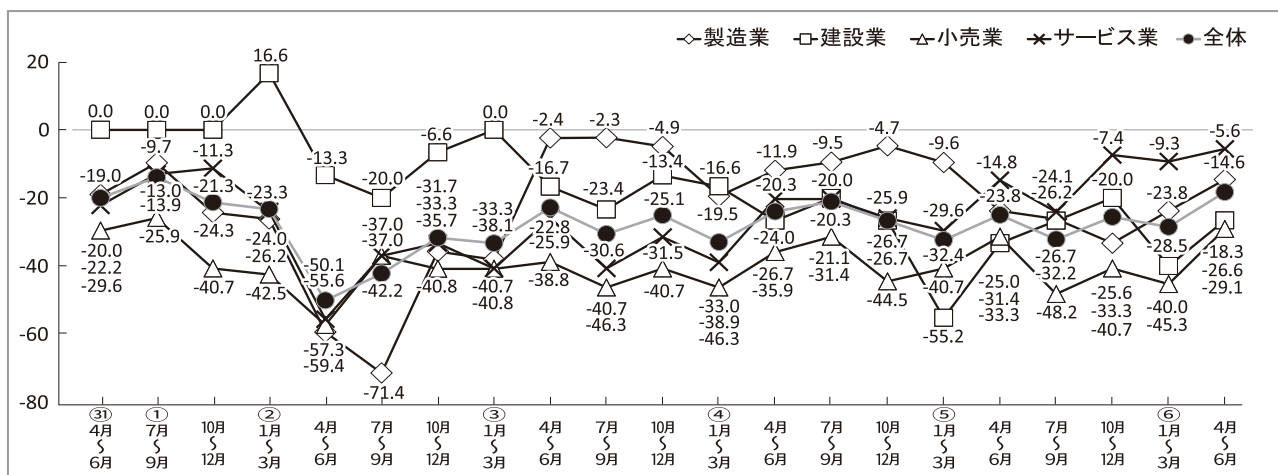
- ・材料や部品等仕入単価の上昇と人件費の年々の上昇を価格に転嫁できていない。(自動車一般整備業)
- ・物価上昇の影響か、あきらかな需要の低迷を感じる。安価なプランの予約が増えたり一人旅が増えたりと、効率よく売上をあげることが困難になっている。(他に分類されない宿泊業)
- ・新規参入業者、利用者ニーズの変化への対応で仕事量が減り、新たな顧客の確保は難しい。(一般貨物自動車運送業)

(3) 主要4項目及び業況判断DIの推移 —前年同期比—

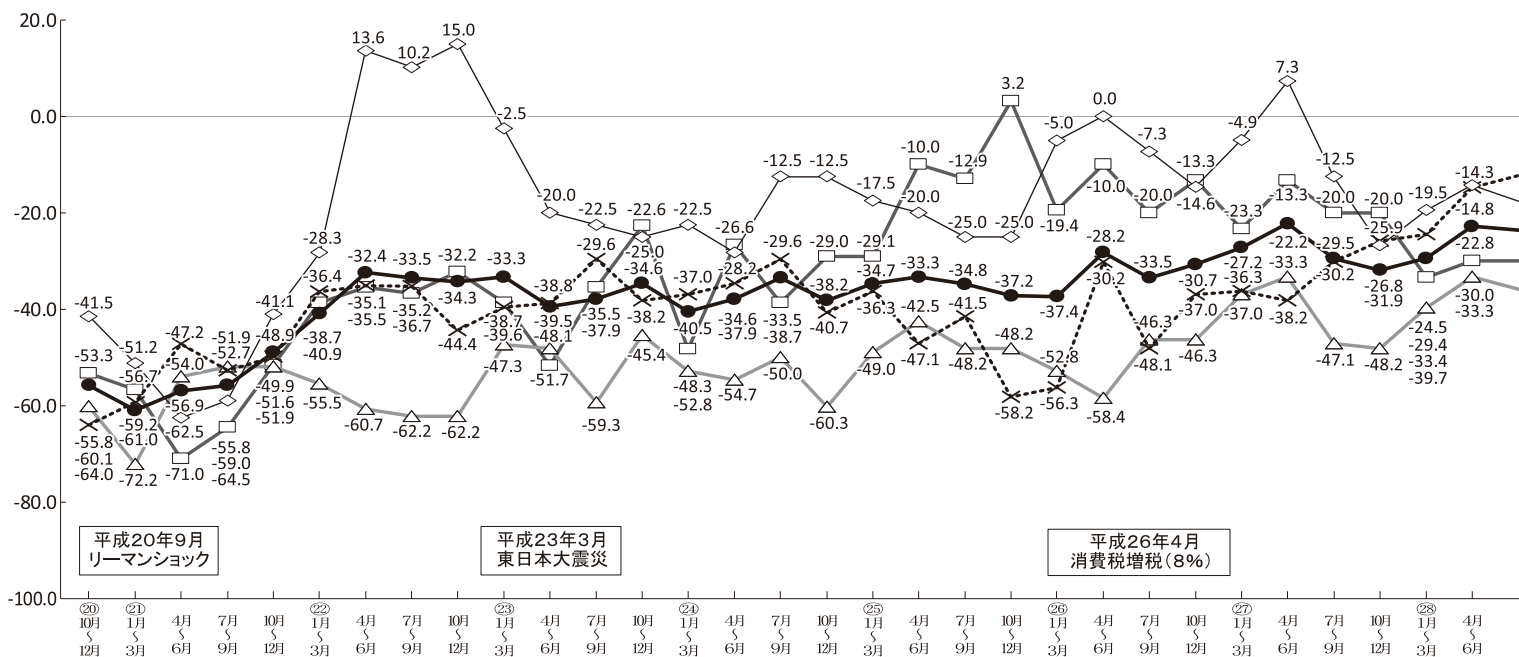
<図1-2> (岡山県) 売上(完成工事)額の推移



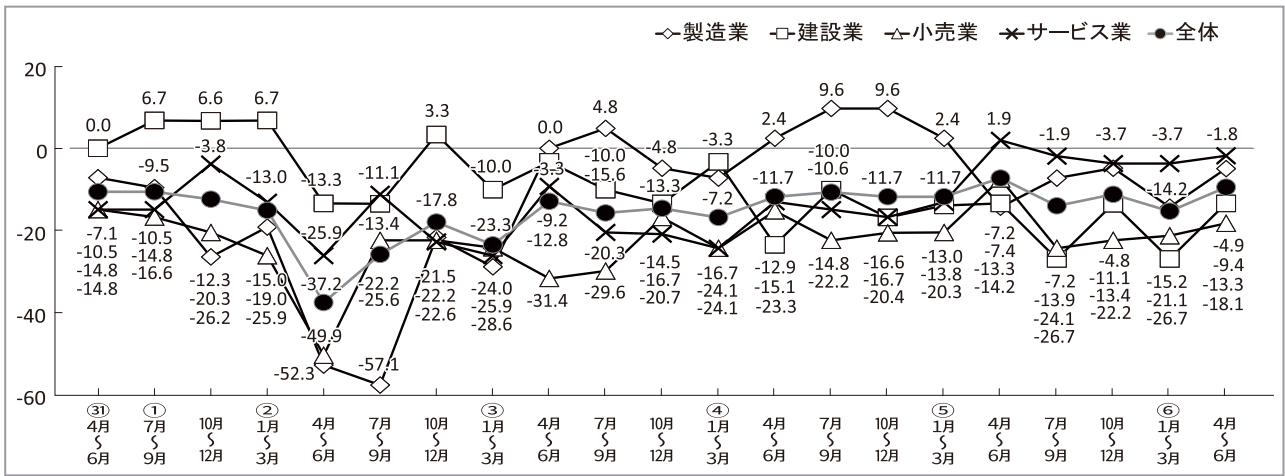
<図1-3> (岡山県) 採算の推移



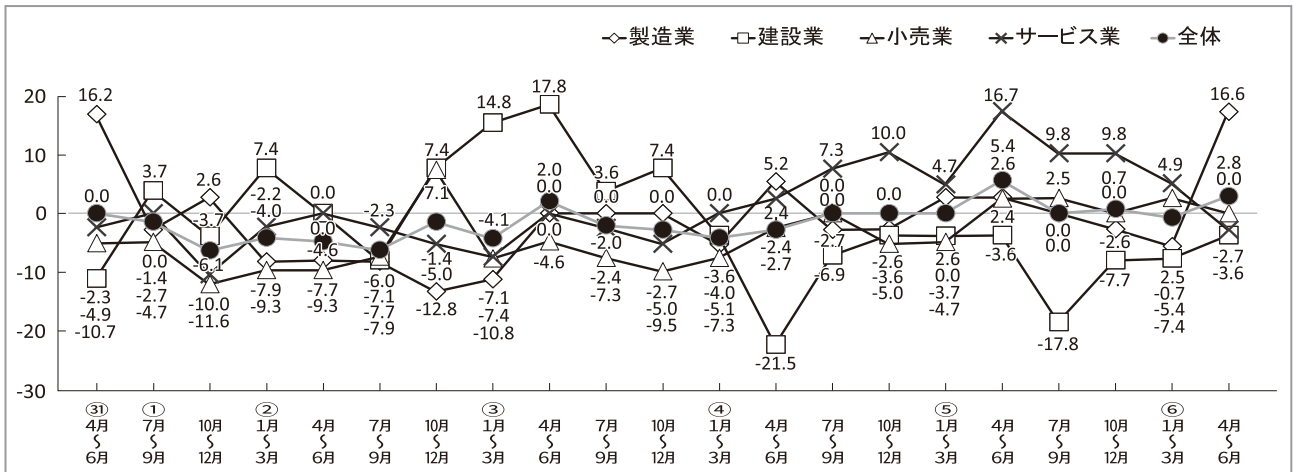
<図1-6> (岡山県)



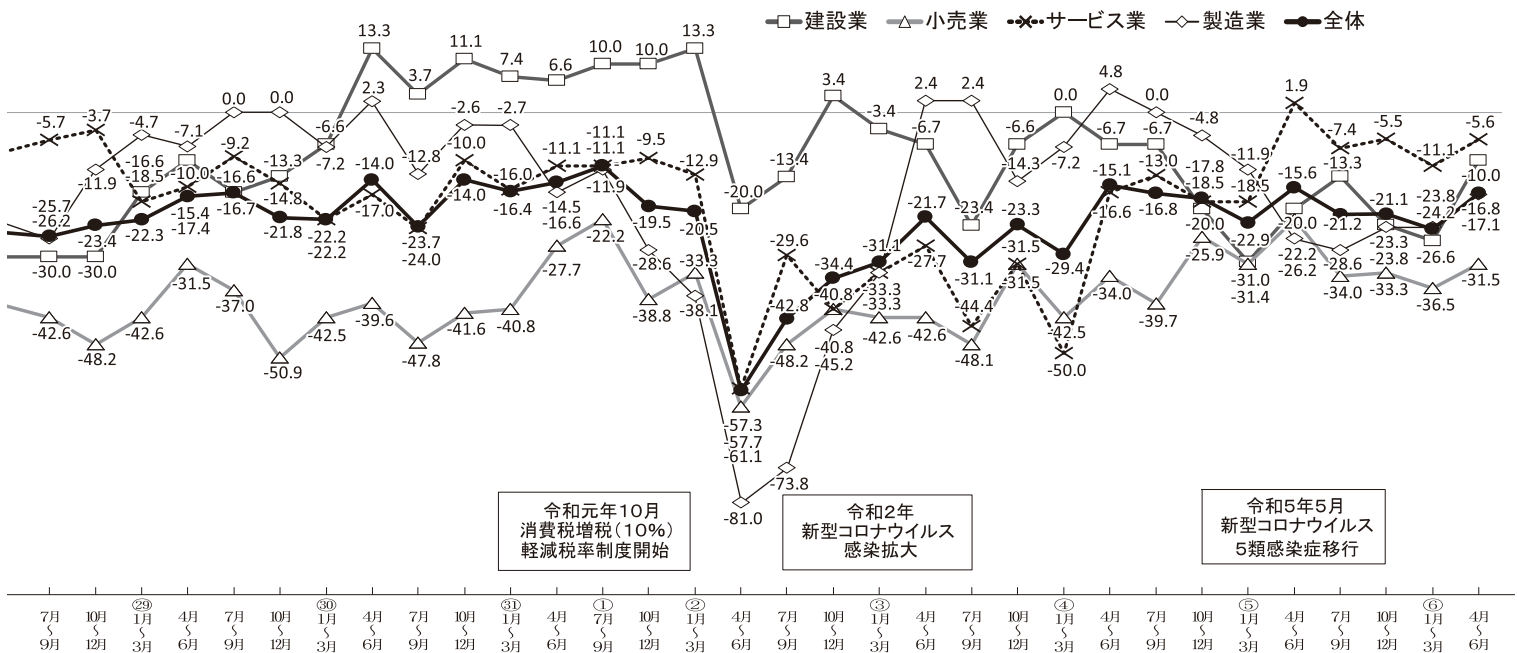
<図1-4> (岡山県) 資金繰りの推移



<図1-5> (岡山県) 従業員数の推移



商工会地区の業況判断D I >



2 製造業の景況

1) 主要項目の動き

「売上(加工)額」D I (増加-減少)は、(前期-19.1)→-9.8(前期差9.3ポイント増)と増加した。来期のD I (増加-減少)は、今期比0.1ポイントの増加を予想している。

「採算(経常利益)」D I (好転-悪化)は、(前期-23.8)→-14.6(前期差9.2ポイント増)と好転した。来期のD I (好転-悪化)は、今期比▲2.5ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I (好転-悪化)は、(前期-14.2)→-4.9(前期差9.3ポイント増)と好転した。来期のD I (好転-悪化)は、今期比▲2.4ポイントの悪化を予想している。

「原材料仕入単価」D I (上昇-低下)は、(前期59.5)→51.4(前期差8.1ポイント減)と低下した。

「売上(加工)単価」D I (上昇-低下)は、(前期14.3)→17.1(前期差2.8ポイント増)と上昇した。

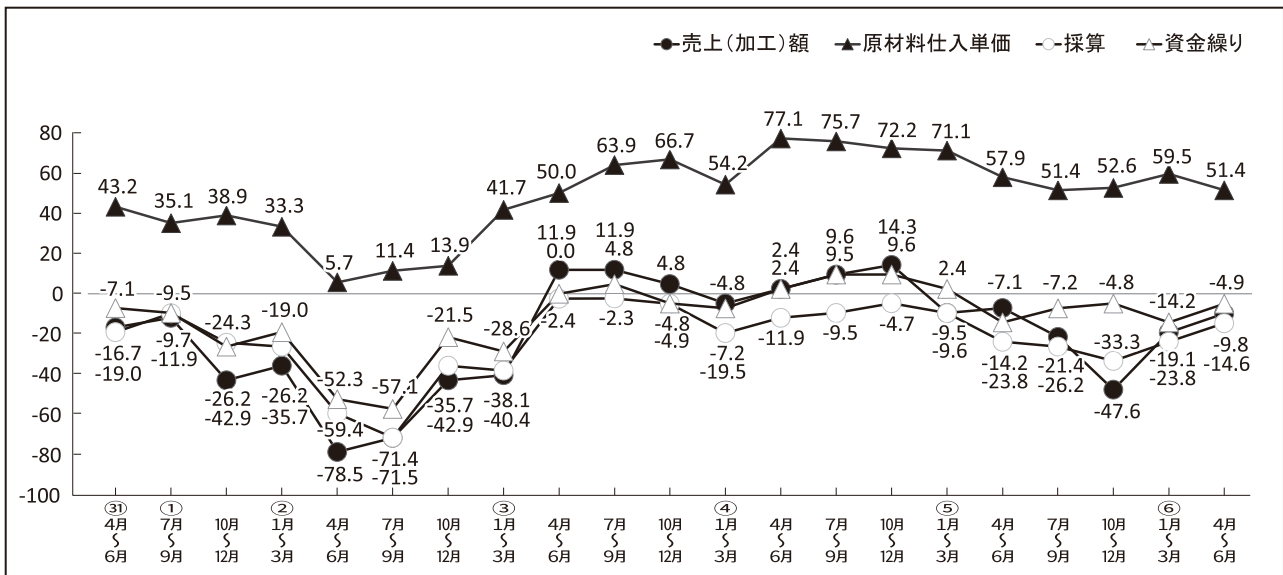
「売上(加工)数量」D I (増加-減少)は、(前期-19.1)→-21.9(前期差2.8ポイント減)と減少した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「需要の停滞」、「原材料価格の上昇」(21.1%)、第3位は「生産設備の不足・老朽化」(13.2%)、第4位は「製品ニーズの変化」(7.9%)である。

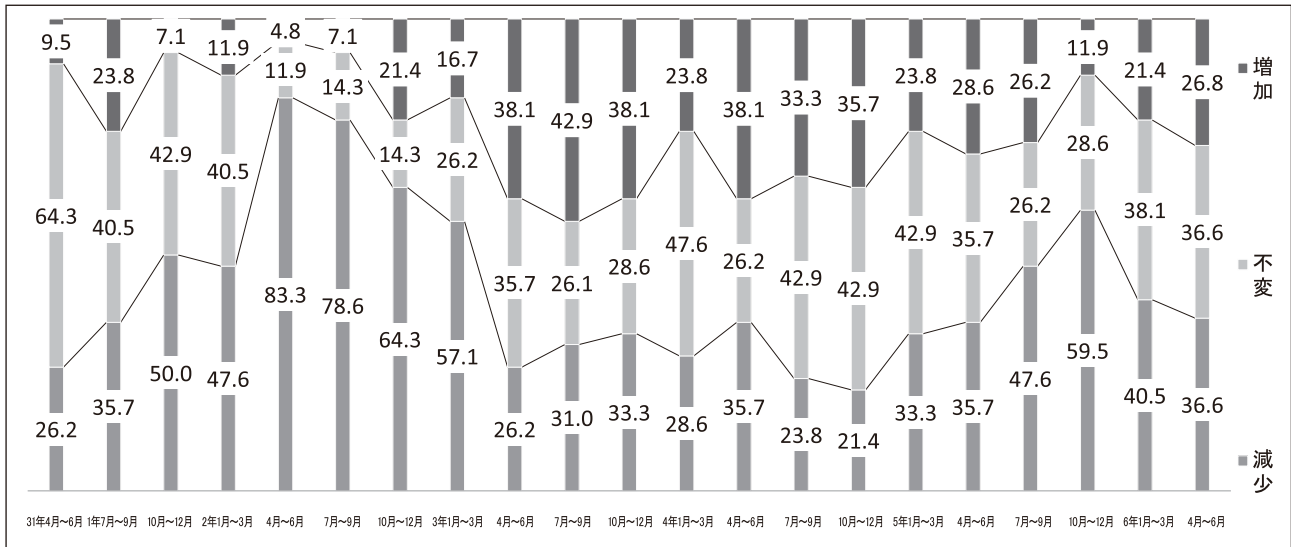
(1) 主要項目の動き —前年同期比—

<図2-1> (岡山県) 主要景況項目の推移

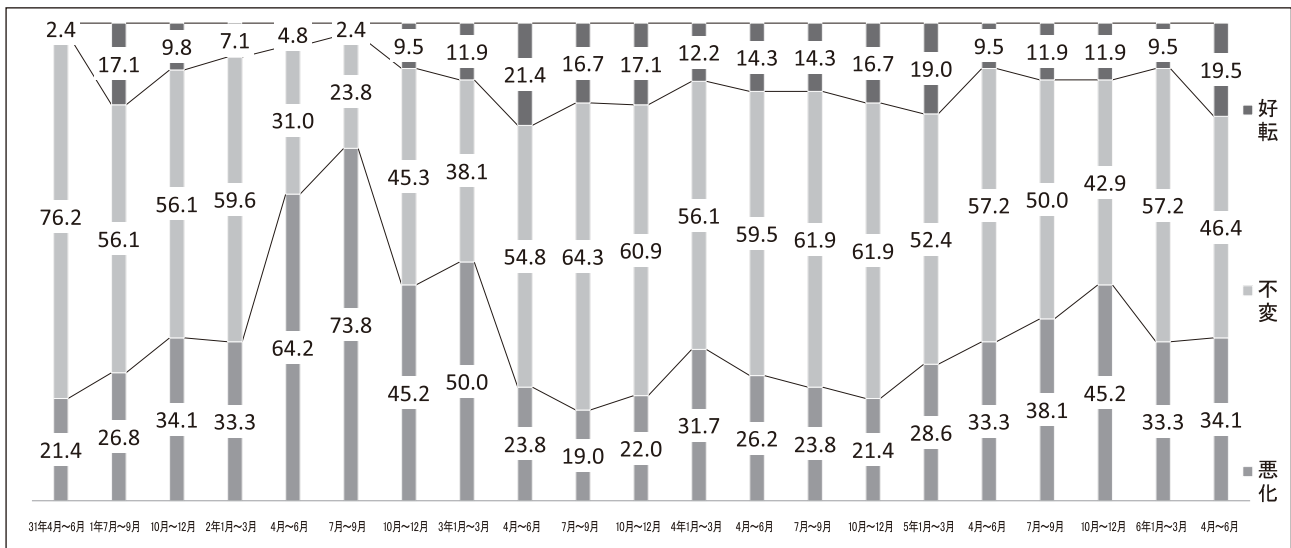


(2) 主要3項目の状況

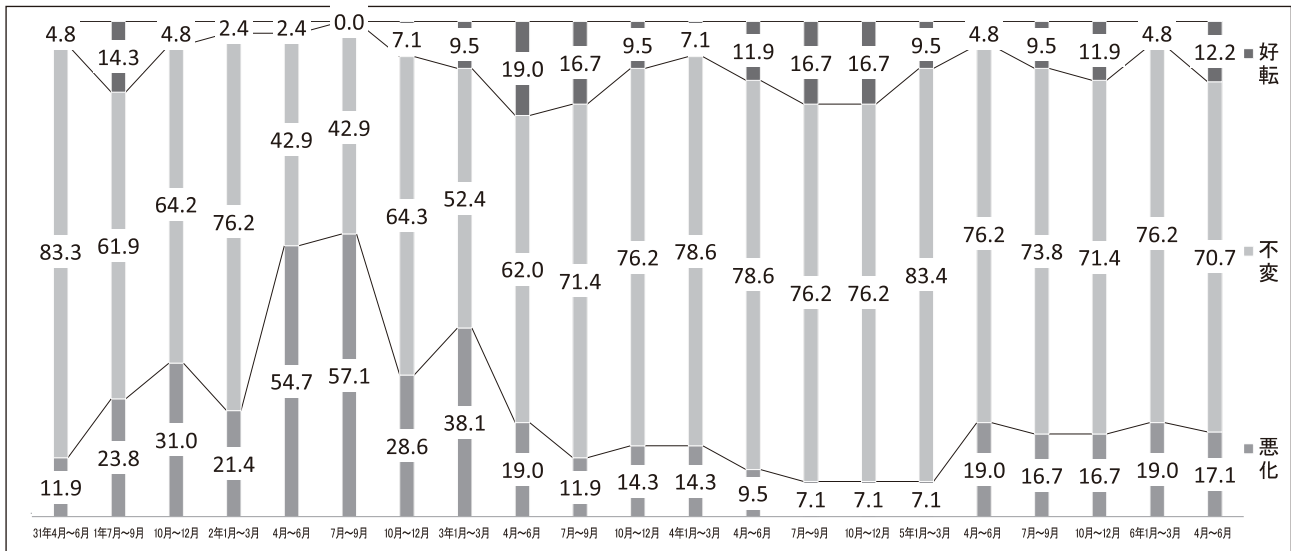
<図2-2> (岡山県) 売上(加工)額の状況



<図2-3> (岡山県) 採算の状況

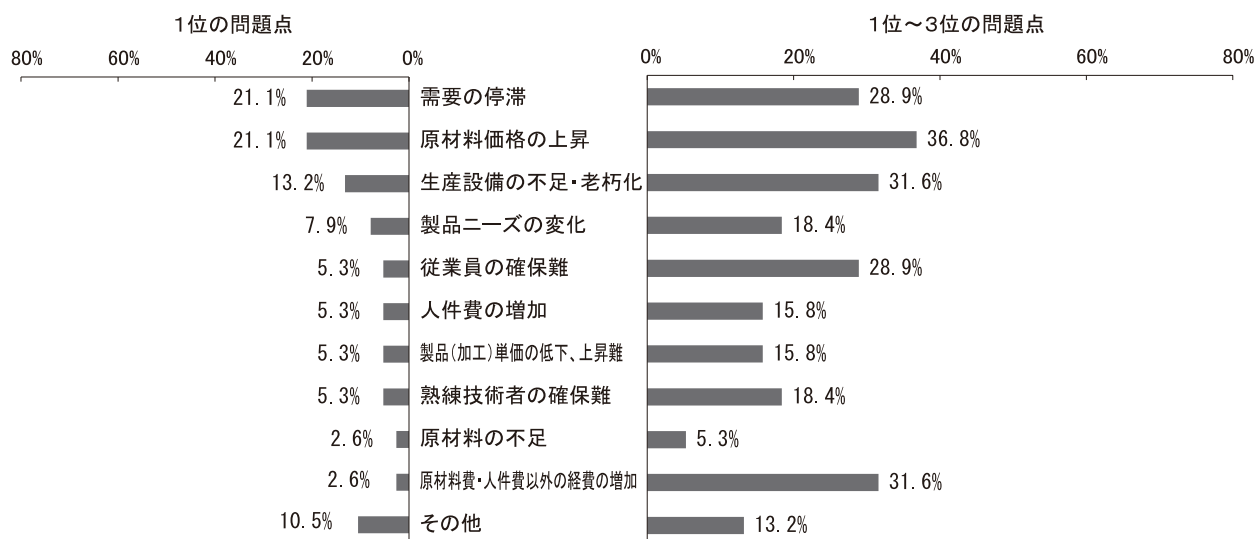


<図2-4> (岡山県) 資金繰りの状況



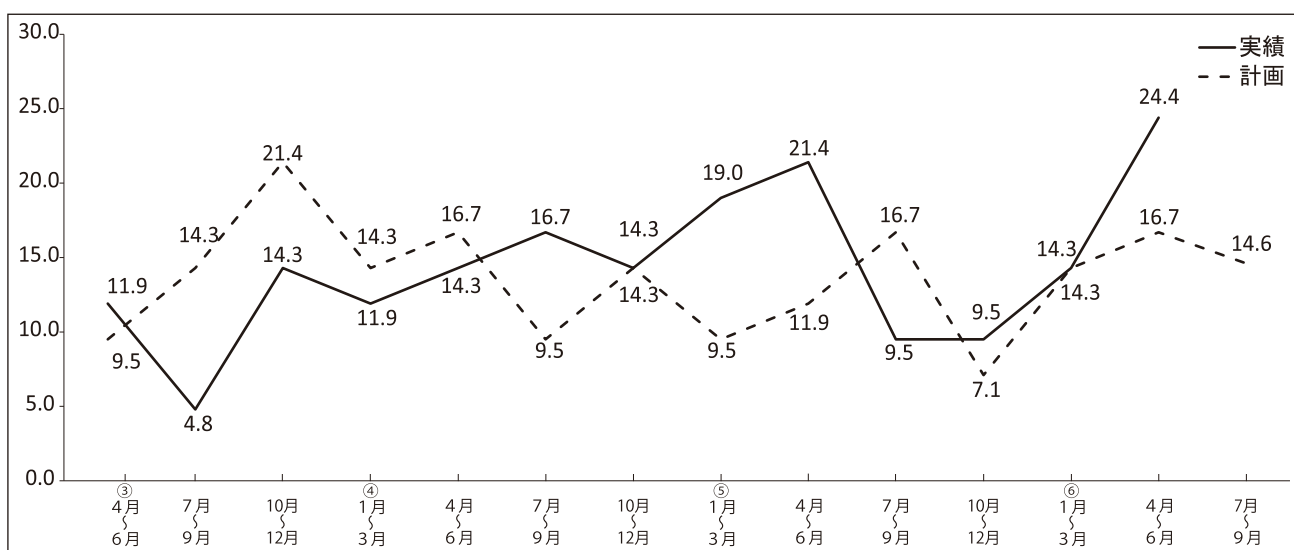
(3) 経営上の問題点の状況

＜図2-5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図2-6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表2-1＞（岡山県）新規設備投資

(%、上段：実施、下段：計画)

	3年 4月 ～6月	3年 7月 ～9月	3年 10月 ～12月	4年 1月 ～3月	4年 4月 ～6月	4年 7月 ～9月	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月
実施した 計画している	11.9 9.5	4.8 14.3	14.3 21.4	11.9 14.3	14.3 16.7	16.7 9.5	14.3 14.3	19.0 9.5	21.4 11.9	9.5 16.7	9.5 7.1	14.3 14.3	24.4 16.7	14.6
土地	20.0 25.0	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 25.0	0.0 20.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 28.6	10.0 0.0
工場建物	20.0 0.0	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 28.6	14.3 0.0	0.0 0.0	12.5 25.0	44.4 0.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 16.7	20.0 14.3	16.7
生産設備	40.0 50.0	50.0 50.0	16.7 77.8	20.0 100.0	33.3 57.1	28.6 75.0	16.7 33.3	62.5 25.0	11.1 20.0	50.0 42.9	75.0 100.0	83.3 50.0	60.0 57.1	50.0
車両・運 搬具	0.0 0.0	0.0 16.7	33.3 0.0	40.0 0.0	33.3 28.6	28.6 0.0	33.3 33.3	25.0 0.0	11.1 40.0	25.0 14.3	0.0 0.0	16.7 33.3	0.0 14.3	0.0 33.3
付帯施設	20.0 25.0	50.0 66.7	16.7 22.2	20.0 0.0	16.7 0.0	14.3 0.0	16.7 0.0	12.5 50.0	11.1 20.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 0.0	10.0 14.3	0.0
OA機器	40.0 0.0	0.0 16.7	16.7 0.0	20.0 0.0	50.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	12.5 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	25.0 0.0	0.0 0.0	10.0 28.6	0.0
福利厚生 施設	20.0 0.0	0.0 16.7	33.3 0.0	20.0 16.7	0.0 14.3	14.3 25.0	33.3 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 0.0	16.7
その他	20.0 25.0	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 25.0	0.0 0.0	0.0 0.0	22.2 0.0	25.0 14.3	0.0 0.0	0.0 0.0	10.0 0.0	0.0
実施していない 計画していない	88.1 90.5	95.2 85.7	85.7 78.6	88.1 85.7	85.7 83.3	83.3 90.5	85.7 85.7	81.0 90.5	78.6 88.1	90.5 83.3	90.5 92.9	85.7 85.7	75.6 83.3	85.4

(5) 主要景況項目の概況

<表2-2> (岡山県) 製造業 (令和6年4月~6月)

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・減少・悪化	(a) - (c)
売上(加工)額	今期	26.8	36.6	36.6	-9.8
	前期	21.4	38.1	40.5	-19.1
	今期-前期	5.4	-1.5	-3.9	9.3
	来期	24.4	41.5	34.1	-9.7
	来期-今期	-2.4	4.9	-2.5	0.1
輸出額	今期	0.0	100.0	0.0	0.0
	前期	0.0	100.0	0.0	0.0
	今期-前期	0.0	0.0	0.0	0.0
売上(加工)単価	今期	24.4	68.3	7.3	17.1
	前期	16.7	80.9	2.4	14.3
	今期-前期	7.7	-12.6	4.9	2.8
売上(加工)数量	今期	17.1	43.9	39.0	-21.9
	前期	19.0	42.9	38.1	-19.1
	今期-前期	-1.9	1.0	0.9	-2.8
原材料仕入単価	今期	51.4	48.6	0.0	51.4
	前期	59.5	40.5	0.0	59.5
	今期-前期	-8.1	8.1	0.0	-8.1
原材料在庫数量	今期	8.3	80.6	11.1	-2.8
	前期	10.8	83.8	5.4	5.4
	今期-前期	-2.5	-3.2	5.7	-8.2
製品在庫数量	今期	0.0	89.2	10.8	-10.8
	前期	5.4	89.2	5.4	0.0
	今期-前期	-5.4	0.0	5.4	-10.8
採算(経常利益)	今期	19.5	46.4	34.1	-14.6
	前期	9.5	57.2	33.3	-23.8
	今期-前期	10.0	-10.8	0.8	9.2
	来期	19.5	43.9	36.6	-17.1
	来期-今期	0.0	-2.5	2.5	-2.5
引合い	今期	20.0	50.0	30.0	-10.0
	前期	14.6	58.6	26.8	-12.2
	今期-前期	5.4	-8.6	3.2	2.2
受注残	今期	5.0	65.0	30.0	-25.0
	前期	2.4	76.2	21.4	-19.0
	今期-前期	2.6	-11.2	8.6	-6.0
従業員 (含臨時・パート)	今期	19.4	77.8	2.8	16.6
	前期	2.7	89.2	8.1	-5.4
	今期-前期	16.7	-11.4	-5.3	22.0
外部人材 (請負・派遣)	今期	0.0	100.0	0.0	0.0
	前期	0.0	100.0	0.0	0.0
	今期-前期	0.0	0.0	0.0	0.0
設備操業率	今期	14.6	58.6	26.8	-12.2
	前期	9.5	66.7	23.8	-14.3
	今期-前期	5.1	-8.1	3.0	2.1
業況(自社)	今期	14.6	53.7	31.7	-17.1
	前期	9.5	57.2	33.3	-23.8
	今期-前期	5.1	-3.5	-1.6	6.7
	来期	14.6	48.8	36.6	-22.0
	来期-今期	0.0	-4.9	4.9	-4.9
資金繰り	今期	12.2	70.7	17.1	-4.9
	前期	4.8	76.2	19.0	-14.2
	今期-前期	7.4	-5.5	-1.9	9.3
	来期	12.2	68.3	19.5	-7.3
	来期-今期	0.0	-2.4	2.4	-2.4

3 建設業の景況

1) 主要項目の動き

「完成工事額（請負工事）」D I（増加－減少）は、（前期－13.4）→－20.0（前期差6.6ポイント減）と減少した。来期のD I（増加－減少）は、今期比3.3ポイントの増加を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－40.0）→－26.6（前期差13.4ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比19.9ポイントの好転を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－26.7）→－13.3（前期差13.4ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比3.3ポイントの好転を予想している。

「材料仕入単価」D I（上昇－低下）は、（前期66.7）→60.0（前期差6.7ポイント減）と低下した。

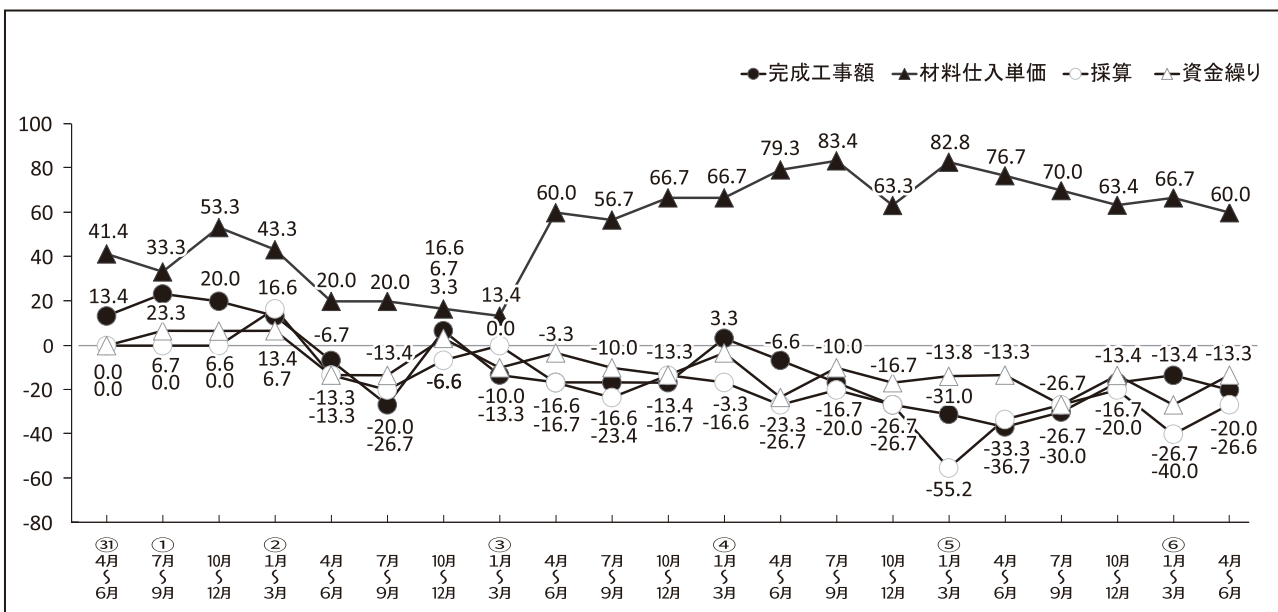
受注額（新規契約工事）」D I（増加－減少）は、（前期－16.6）→－20.0（前期差3.4ポイント減）と減少した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「材料価格の上昇」（40.7%）、第2位は「材料費・人件費以外の経費の増加」（14.8%）、第3位は「従業員の確保難」（11.1%）、第4位は「民間需要の停滞」（7.4%）である。

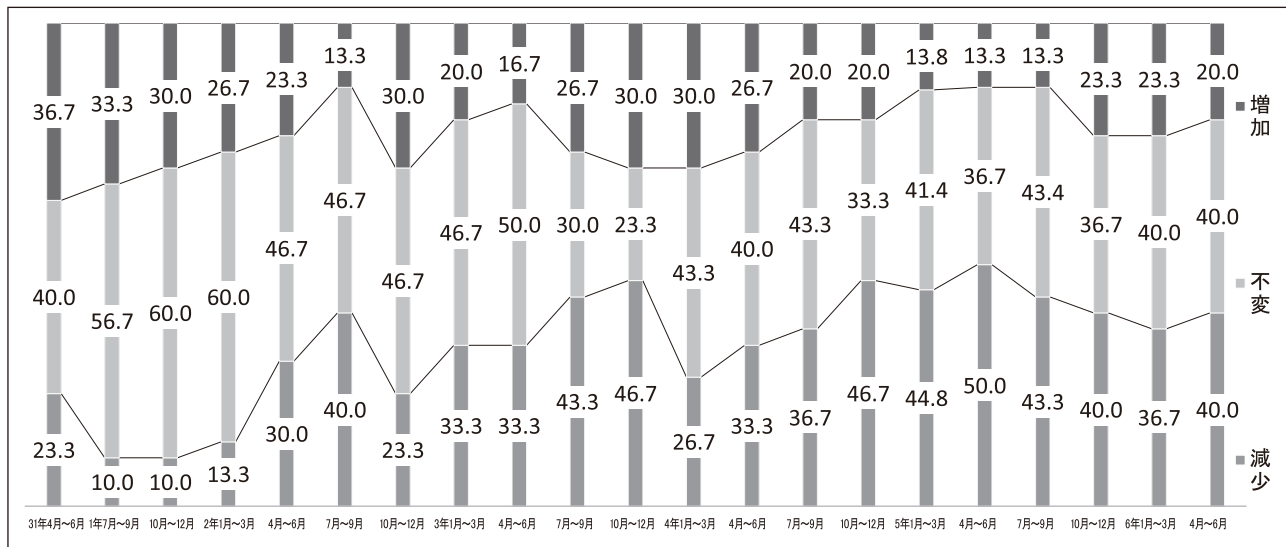
(1) 主要項目の動き —前年同期比—

<図3-1> (岡山県) 主要景況項目の推移

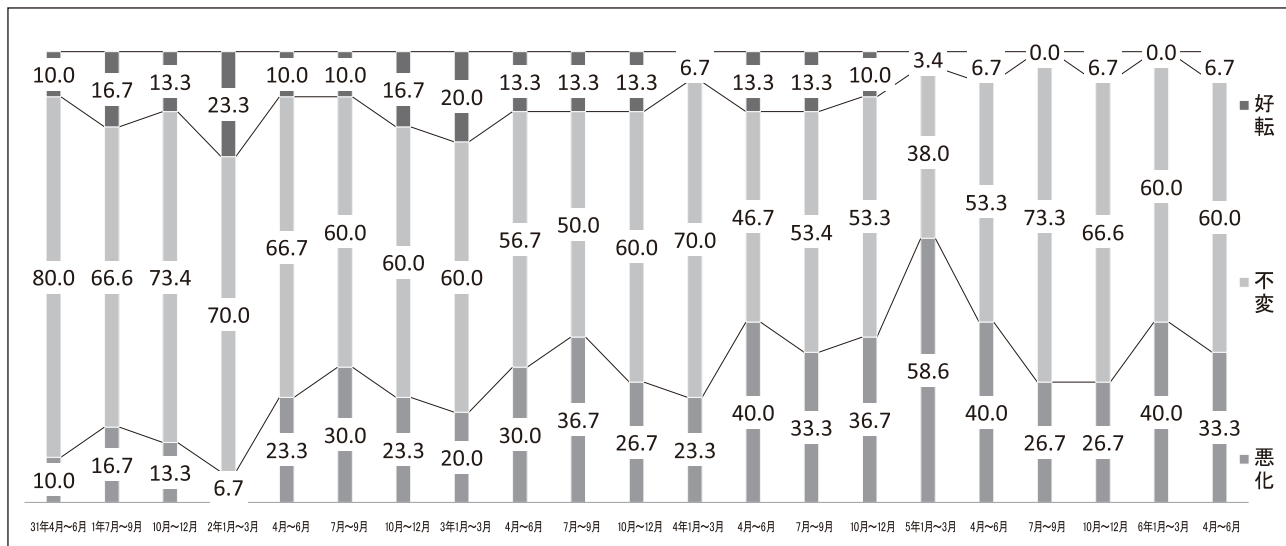


(2) 主要3項目の状況 —前年同期比—

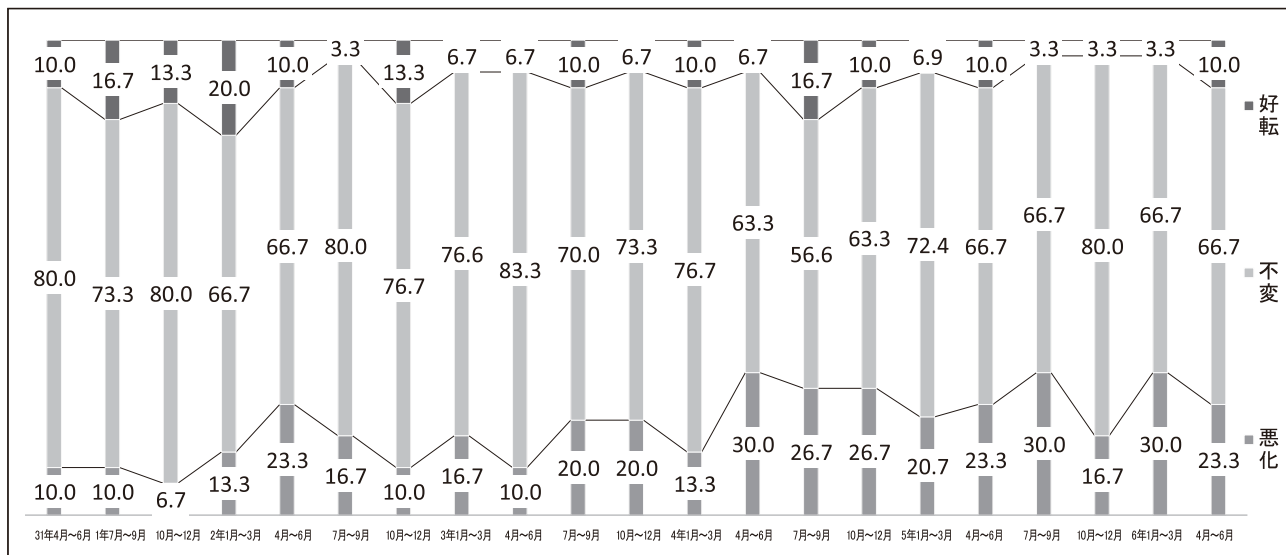
<図3-2> (岡山県) 完成工事額(請負工事)の状況



<図3-3> (岡山県) 採算の状況

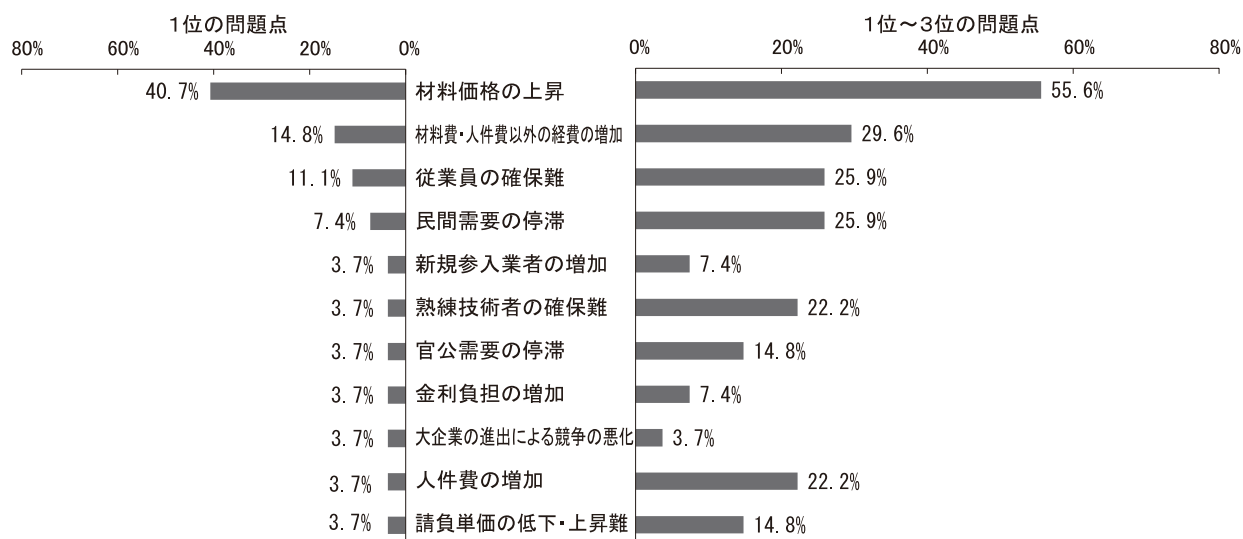


<図3-4> (岡山県) 資金繰りの状況



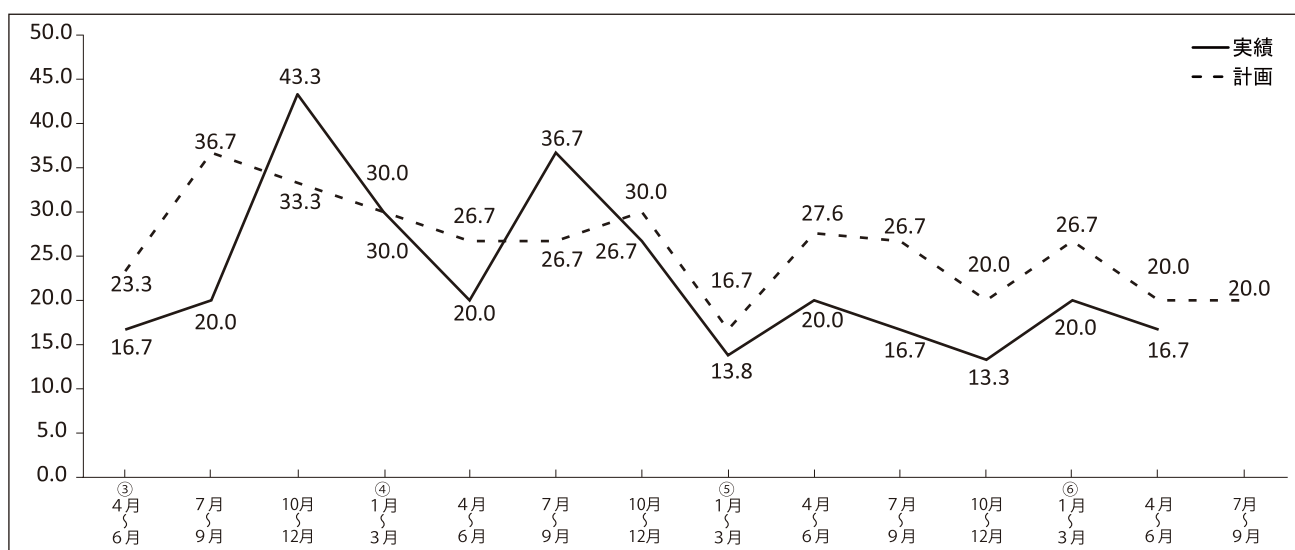
(3) 経営上の問題点の状況

＜図3-5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図3-6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表3-1＞（岡山県）新規設備投資

(%、上段：実施、下段：計画)

	3年 4月 ～6月	3年 7月 ～9月	3年 10月 ～12月	4年 1月 ～3月	4年 4月 ～6月	4年 7月 ～9月	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月
実施した 計画している	16.7 23.3	20.0 36.7	43.3 33.3	30.0 30.0	20.0 26.7	36.7 26.7	26.7 30.0	13.8 16.7	20.0 27.6	16.7 26.7	20.0 20.0	13.3 26.7	20.0 20.0	16.7 20.0
土地	20.0 28.6	16.7 18.2	15.4 20.0	11.1 22.2	16.7 37.5	18.2 25.0	25.0 22.2	25.0 20.0	16.7 25.0	60.0 25.0	50.0 16.7	16.7 12.5	40.0 33.3	33.3 33.3
建物	0.0 57.1	16.7 9.1	7.7 20.0	22.2 22.2	33.3 37.5	18.2 25.0	25.0 33.3	25.0 40.0	16.7 37.5	20.0 25.0	25.0 0.0	33.3 0.0	40.0 50.0	16.7 16.7
建設機械	40.0 14.3	50.0 27.3	46.2 20.0	55.6 33.3	33.3 25.0	36.4 37.5	62.5 33.3	25.0 60.0	16.7 25.0	0.0 37.5	50.0 50.0	0.0 37.5	40.0 33.3	16.7 16.7
車両・運 搬具	0.0 57.1	16.7 36.4	30.8 30.0	33.3 44.4	33.3 12.5	9.1 37.5	25.0 44.4	25.0 40.0	83.3 40.0	40.0 37.5	25.0 16.7	33.3 25.0	0.0 33.3	0.0 33.3
付帯施設	0.0 0.0	0.0 9.1	7.7 10.0	11.1 11.1	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0
OA機器	60.0 28.6	16.7 18.2	7.7 10.0	22.2 0.0	50.0 25.0	54.5 50.0	12.5 11.1	0.0 20.0	0.0 12.5	0.0 12.5	25.0 16.7	33.3 12.5	40.0 33.3	33.3 33.3
福利厚生 施設	0.0 0.0	33.3 9.1	7.7 10.0	0.0 0.0	0.0 12.5	0.0 12.5	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 25.0	0.0 12.5	25.0 16.7	16.7 12.5	20.0 0.0	0.0 0.0
その他	40.0 0.0	16.7 9.1	15.4 20.0	0.0 22.2	0.0 37.5	18.2 12.5	0.0 11.1	75.0 0.0	16.7 12.5	20.0 25.0	0.0 16.7	0.0 25.0	0.0 33.3	0.0 33.3
実施していない 計画していない	83.3 76.7	80.0 63.3	56.7 66.7	70.0 70.0	80.0 73.3	63.3 73.3	73.3 70.0	86.2 83.3	80.0 72.4	83.3 73.3	86.7 80.0	80.0 73.3	83.3 80.0	80.0 80.0

(5) 主要景況項目の概況

<表3-2> (岡山県) 建設業 (令和6年4月~6月)

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・ 増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・ 減少・悪化	(a) - (c)
受注額 (新規契約工事)	今期	20.0	40.0	40.0	-20.0
	前期	26.7	30.0	43.3	-16.6
	今期-前期	-6.7	10.0	-3.3	-3.4
完成工事額 (請負工事)	今期	20.0	40.0	40.0	-20.0
	前期	23.3	40.0	36.7	-13.4
	今期-前期	-3.3	0.0	3.3	-6.6
	来期	13.3	56.7	30.0	-16.7
	来期-今期	-6.7	16.7	-10.0	3.3
材料仕入単価	今期	63.3	33.4	3.3	60.0
	前期	70.0	26.7	3.3	66.7
	今期-前期	-6.7	6.7	0.0	-6.7
採算 (経常利益)	今期	6.7	60.0	33.3	-26.6
	前期	0.0	60.0	40.0	-40.0
	今期-前期	6.7	0.0	-6.7	13.4
	来期	10.0	73.3	16.7	-6.7
	来期-今期	3.3	13.3	-16.6	19.9
引合い	今期	17.9	67.8	14.3	3.6
	前期	6.9	65.5	27.6	-20.7
	今期-前期	11.0	2.3	-13.3	24.3
契約残 (未消化工事高)	今期	13.3	53.4	33.3	-20.0
	前期	16.7	53.3	30.0	-13.3
	今期-前期	-3.4	0.1	3.3	-6.7
従業員 (含臨時・パート)	今期	7.1	82.2	10.7	-3.6
	前期	7.4	77.8	14.8	-7.4
	今期-前期	-0.3	4.4	-4.1	3.8
外部人材 (請負・派遣)	今期	14.3	64.3	21.4	-7.1
	前期	7.7	76.9	15.4	-7.7
	今期-前期	6.6	-12.6	6.0	0.6
業況 (自社)	今期	13.3	63.4	23.3	-10.0
	前期	6.7	60.0	33.3	-26.6
	今期-前期	6.6	3.4	-10.0	16.6
	来期	13.3	66.7	20.0	-6.7
	来期-今期	0.0	3.3	-3.3	3.3
資金繰り	今期	10.0	66.7	23.3	-13.3
	前期	3.3	66.7	30.0	-26.7
	今期-前期	6.7	0.0	-6.7	13.4
	来期	3.3	83.4	13.3	-10.0
	来期-今期	-6.7	16.7	-10.0	3.3

4 小売業の景況

1) 主要項目の動き

「売上額」D I（増加－減少）は、（前期－28.3）→－21.9（前期差6.4ポイント増）と増加した。来期のD I（増加－減少）は、今期比▲16.3ポイントの減少を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－45.3）→－29.1（前期差16.2ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲3.6ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－21.1）→－18.1（前期差3.0ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲3.7ポイントの悪化を予想している。

「商品仕入単価」D I（上昇－低下）は、（前期69.8）→60.0（前期差9.8ポイント減）と低下した。

「客単価」D I（上昇－低下）は、（前期－20.7）→－3.7（前期差17.0ポイント増）と上昇した。

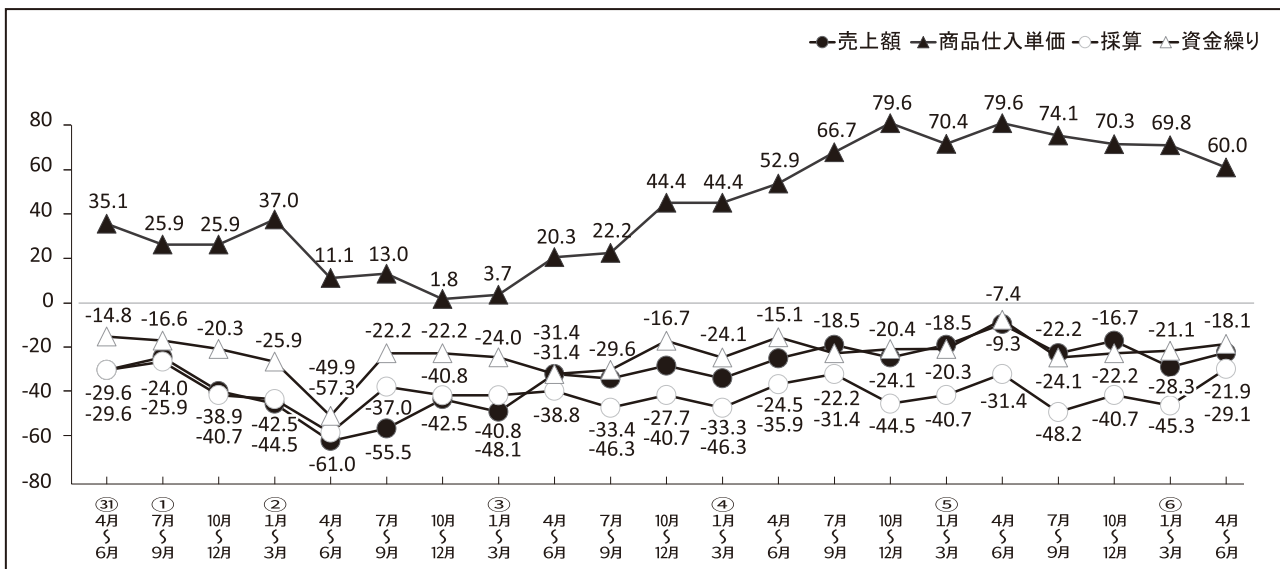
「客数」D I（増加－減少）は、（前期－41.5）→－34.6（前期差6.9ポイント増）と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「仕入単価の上昇」（26.4%）、第2位は「購買力の他地域への流出」（15.1%）、第3位は「消費者ニーズの変化への対応」、「需要の停滞」（13.2%）、第5位は「大型店・中型店の進出による競争の激化」（9.4%）である。

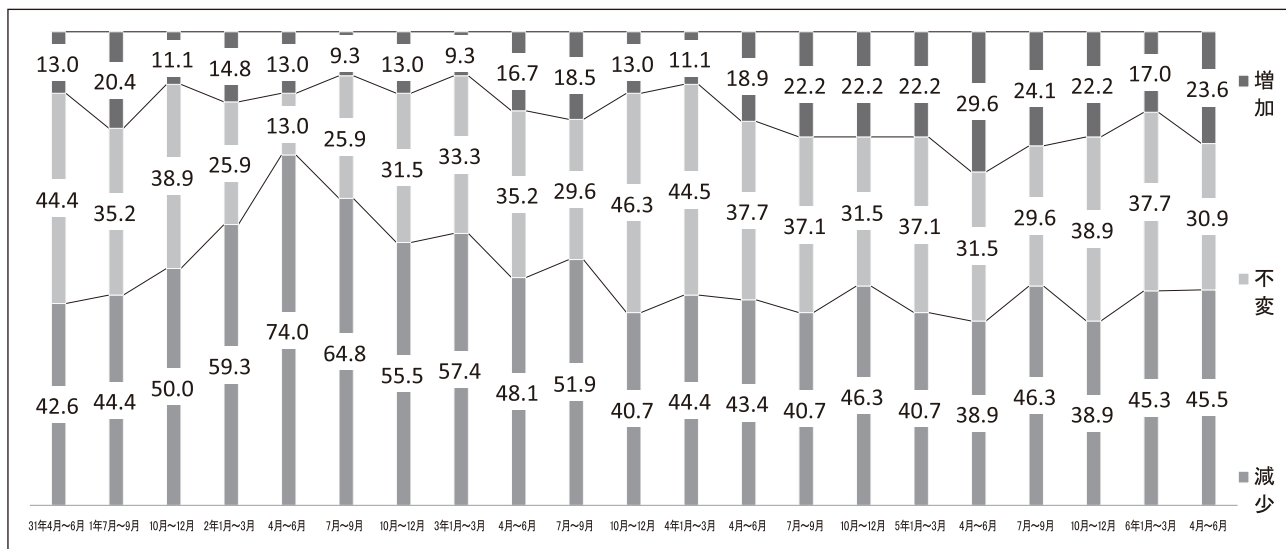
(1) 主要項目の動き —前年同期比—

<図4-1>（岡山県）主要景況項目の推移

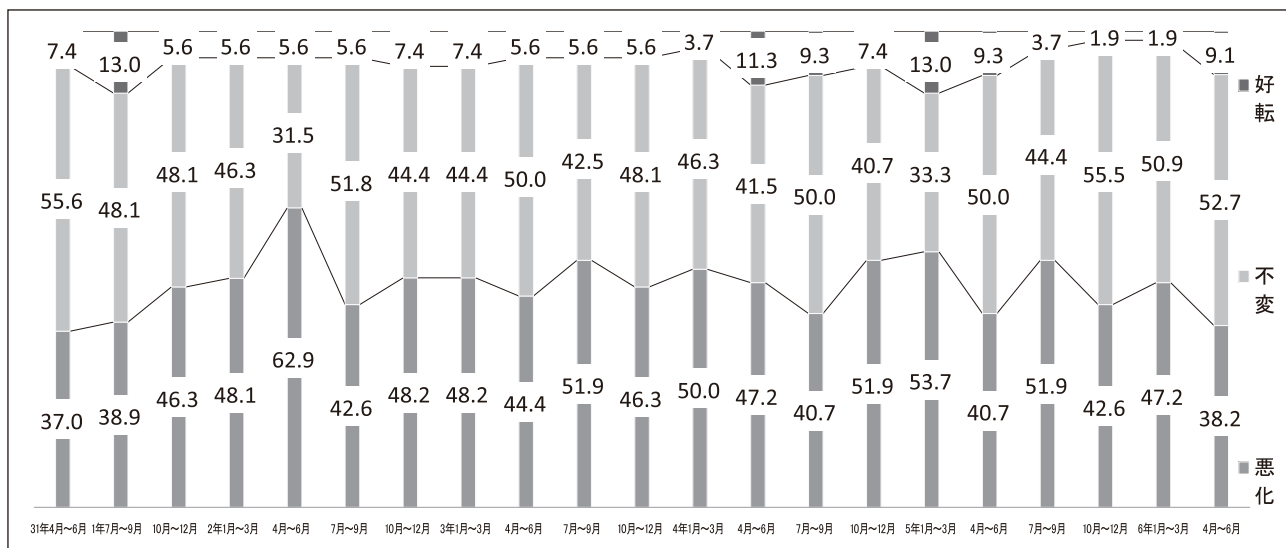


(2) 主要3項目の状況 —前年同期比—

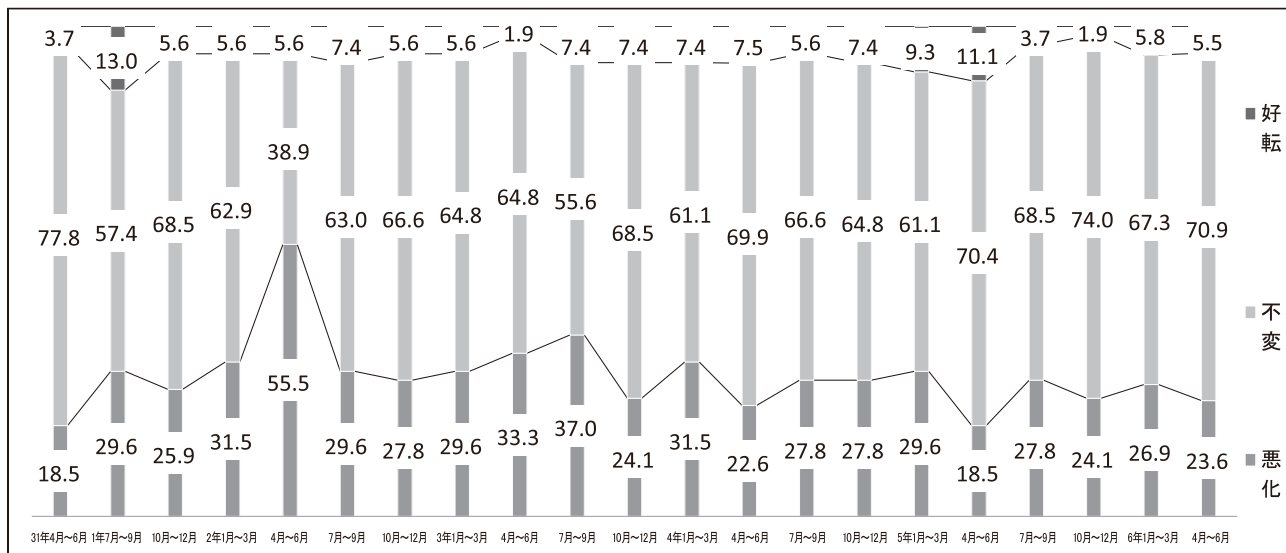
<図4-2> (岡山県) 売上額の状況



<図4-3> (岡山県) 採算の状況

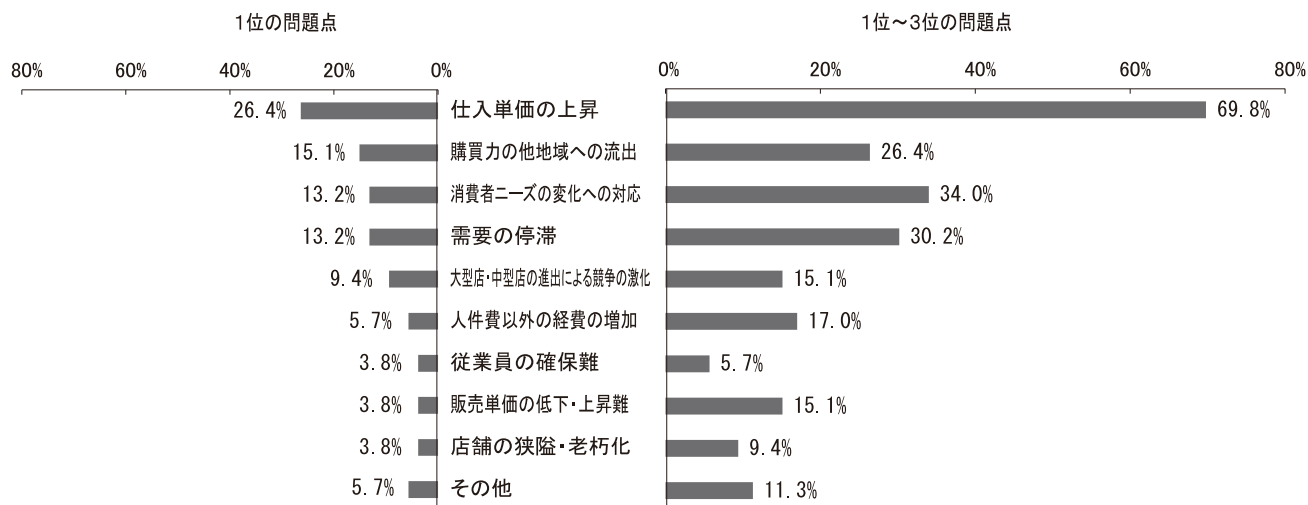


<図4-4> (岡山県) 資金繰りの状況



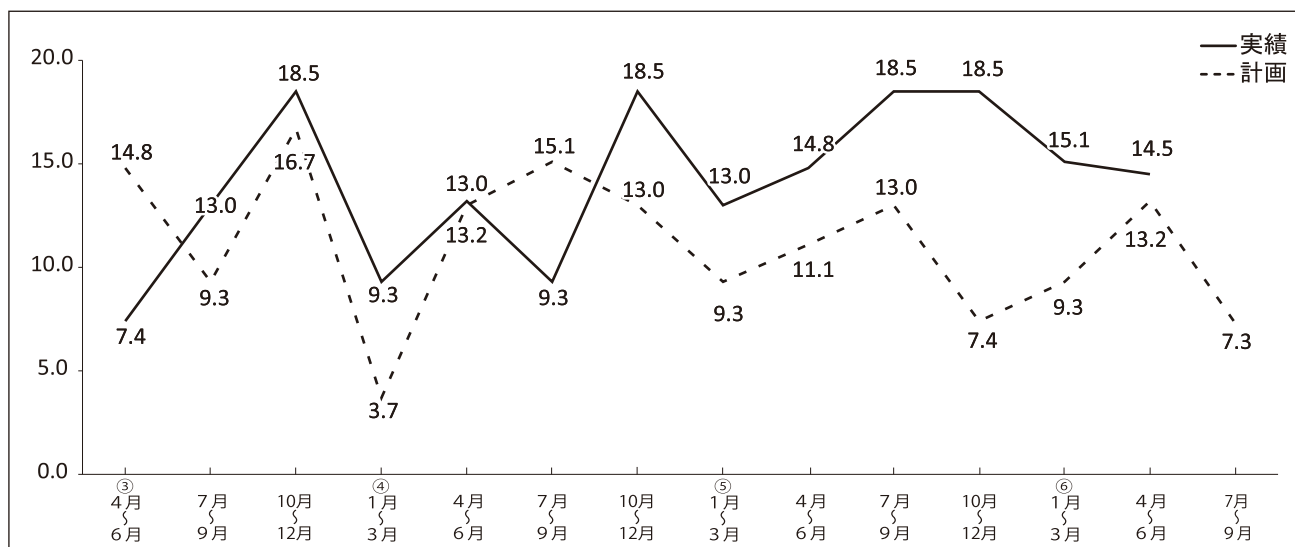
(3) 経営上の問題点の状況

＜図4-5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図4-6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表4-1＞（岡山県）新規設備投資

(%, 上段: 実施、下段: 計画)

	3年 4月 ～6月	3年 7月 ～9月	3年 10月 ～12月	4年 1月 ～3月	4年 4月 ～6月	4年 7月 ～9月	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月
実施した	7.4	13.0	18.5	9.3	13.2	9.3	18.5	13.0	14.8	18.5	18.5	15.1	14.5	
計画している	14.8	9.3	16.7	3.7	13.0	15.1	13.0	9.3	11.1	13.0	7.4	9.3	13.2	7.3
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
店舗	25.0	20.0	11.1	60.0	14.3	12.5	14.3	20.0	16.7	14.3	25.0	20.0	28.6	50.0
販売設備	50.0	14.3	20.0	40.0	42.9	0.0	20.0	42.9	62.5	40.0	40.0	50.0	50.0	50.0
車両・運搬具	0.0	14.3	40.0	0.0	14.3	60.0	40.0	28.6	37.5	20.0	30.0	0.0	25.0	25.0
付帯施設	25.0	20.0	11.1	50.0	0.0	12.5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	50.0
OA機器	50.0	42.9	10.0	20.0	14.3	40.0	10.0	42.9	12.5	20.0	20.0	0.0	25.0	25.0
福利厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
その他	0.0	28.6	30.0	0.0	14.3	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	25.0	0.0	0.0
実施していない	92.6	87.0	81.5	90.7	86.8	90.7	81.5	87.0	85.2	81.5	81.5	84.9	85.5	
計画していない	85.2	90.7	83.3	96.3	87.0	84.9	87.0	90.7	88.9	87.0	92.6	90.7	86.8	92.7

(5) 主要景況項目の概況

<表4-2> (岡山県) 小売業 (令和6年4月~6月)

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・ 増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・ 減少・悪化	(a) - (c)
売上額	今期	23.6	30.9	45.5	-21.9
	前期	17.0	37.7	45.3	-28.3
	今期-前期	6.6	-6.8	0.2	6.4
	来期	9.1	43.6	47.3	-38.2
	来期-今期	-14.5	12.7	1.8	-16.3
客単価	今期	23.6	49.1	27.3	-3.7
	前期	15.1	49.1	35.8	-20.7
	今期-前期	8.5	0.0	-8.5	17.0
客数	今期	14.5	36.4	49.1	-34.6
	前期	11.3	35.9	52.8	-41.5
	今期-前期	3.2	0.5	-3.7	6.9
商品仕入単価	今期	65.5	29.0	5.5	60.0
	前期	73.6	22.6	3.8	69.8
	今期-前期	-8.1	6.4	1.7	-9.8
商品仕入額	今期	50.9	30.9	18.2	32.7
	前期	50.9	35.9	13.2	37.7
	今期-前期	0.0	-5.0	5.0	-5.0
商品在庫数量	今期	11.3	58.5	30.2	-18.9
	前期	3.8	71.2	25.0	-21.2
	今期-前期	7.5	-12.7	5.2	2.3
採算 (経常利益)	今期	9.1	52.7	38.2	-29.1
	前期	1.9	50.9	47.2	-45.3
	今期-前期	7.2	1.8	-9.0	16.2
	来期	5.5	56.3	38.2	-32.7
	来期-今期	-3.6	3.6	0.0	-3.6
従業員 (含臨時・パート)	今期	14.3	71.4	14.3	0.0
	前期	9.8	82.9	7.3	2.5
	今期-前期	4.5	-11.5	7.0	-2.5
外部人材 (請負・派遣)	今期	0.0	96.0	4.0	-4.0
	前期	0.0	95.2	4.8	-4.8
	今期-前期	0.0	0.8	-0.8	0.8
業況 (自社)	今期	11.1	46.3	42.6	-31.5
	前期	5.8	51.9	42.3	-36.5
	今期-前期	5.3	-5.6	0.3	5.0
	来期	3.7	51.9	44.4	-40.7
	来期-今期	-7.4	5.6	1.8	-9.2
資金繰り	今期	5.5	70.9	23.6	-18.1
	前期	5.8	67.3	26.9	-21.1
	今期-前期	-0.3	3.6	-3.3	3.0
	来期	1.8	74.6	23.6	-21.8
	来期-今期	-3.7	3.7	0.0	-3.7

5 サービス業の景況

1) 主要項目の動き

「売上(収入)額」D I (増加-減少)は、(前期-9.3)→-9.3(前期差0.0ポイント)と増減なし。来期のD I (増加-減少)は、今期比5.6ポイントの増加を予想している。

「採算(経常利益)」D I (好転-悪化)は、(前期-9.3)→-5.6(前期差3.7ポイント増)と好転した。来期のD I (好転-悪化)は、今期比▲3.6ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I (好転-悪化)は、(前期-3.7)→-1.8(前期差1.9ポイント増)と好転した。来期のD I (好転-悪化)は、今期比▲11.2ポイントの悪化を予想している。

「仕入単価(材料等)」D I (上昇-低下)は、(前期41.5)→53.7(前期差12.2ポイント増)と上昇した。

「客単価」D I (上昇-低下)は、(前期5.6)→3.7(前期差1.9ポイント減)と低下した。

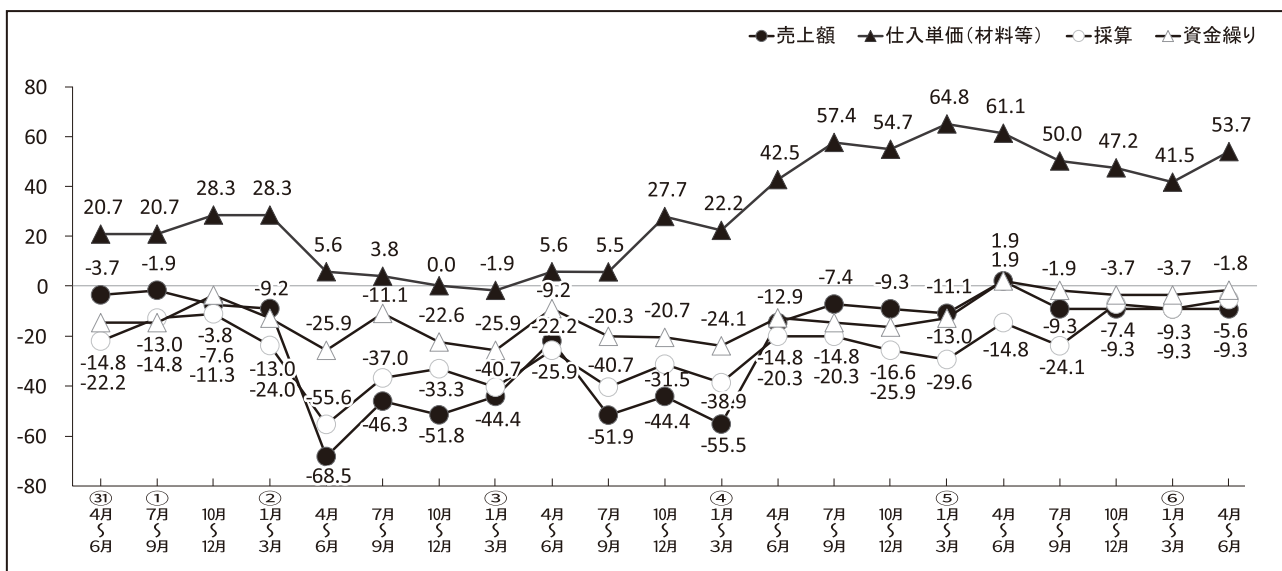
「利用客数」D I (増加-減少)は、(前期-5.5)→-3.7(前期差1.8ポイント増)と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「材料等仕入単価の上昇」(20.5%)、第2位は「需要の停滞」(18.2%)、第3位は「利用者ニーズの変化」(11.4%)、第4位は「大企業の進出による競争の激化」(9.1%)である。

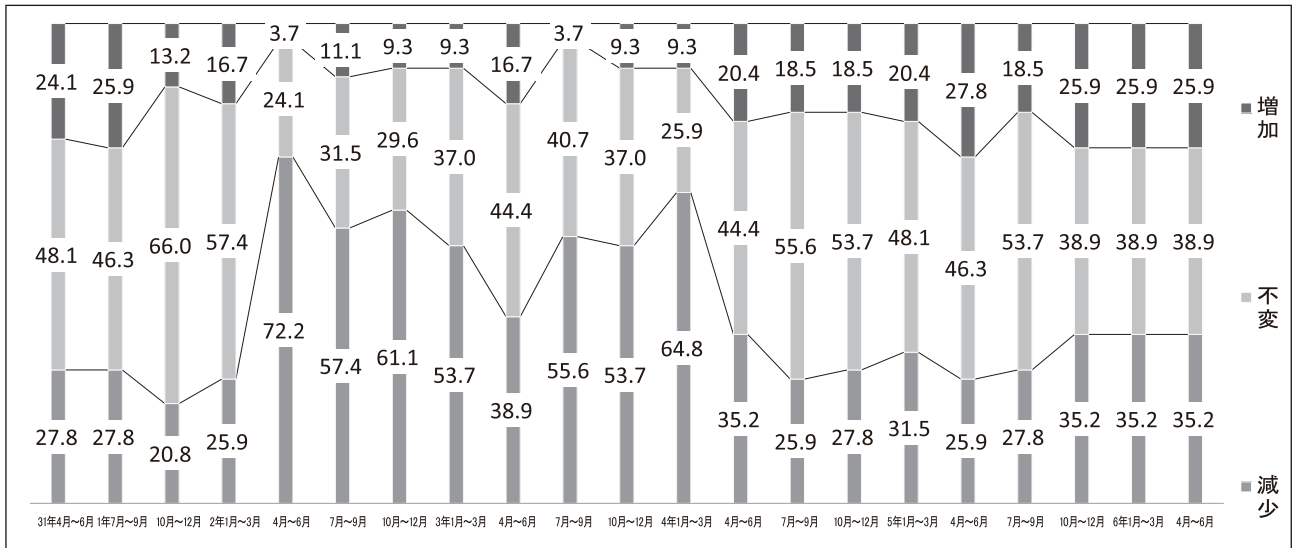
(1) 主要項目の動き —前年同期比—

<図5-1> (岡山県) 主要景況項目の推移

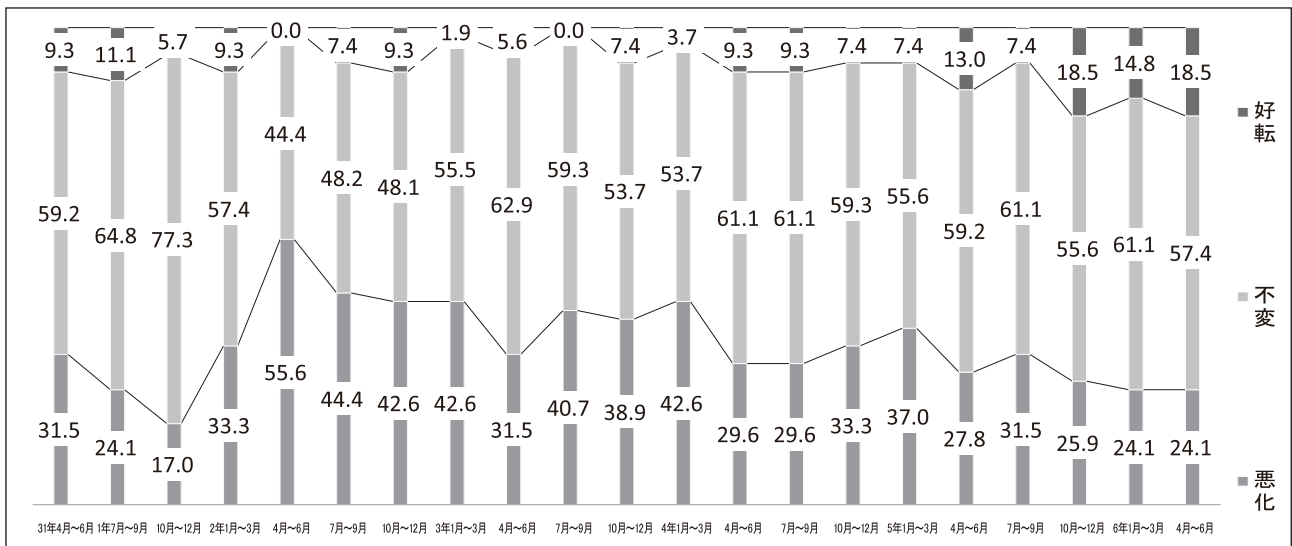


(2) 主要3項目の状況 —前年同期比—

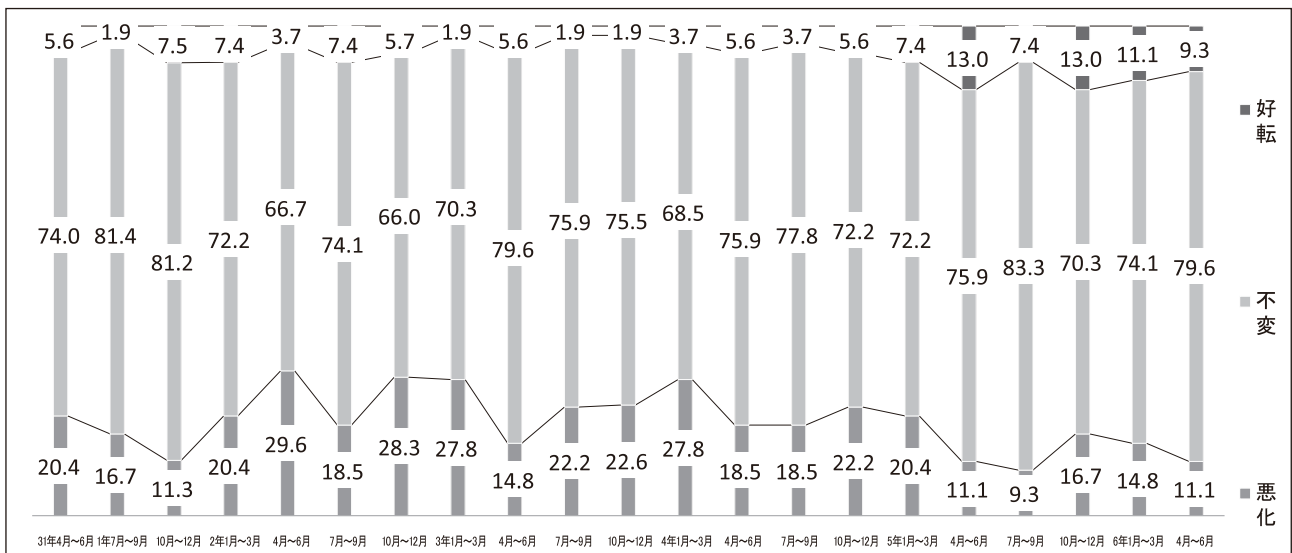
<図5-2> (岡山県) 売上(収入)額の状況



<図5-3> (岡山県) 採算の状況

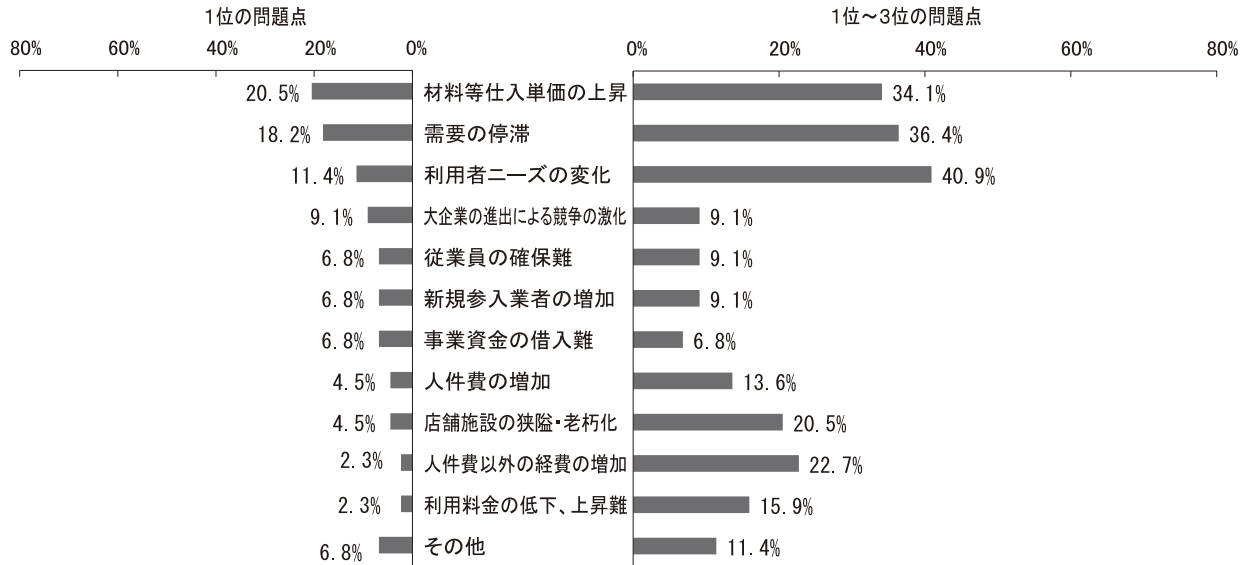


<図5-4> (岡山県) 資金繰りの状況



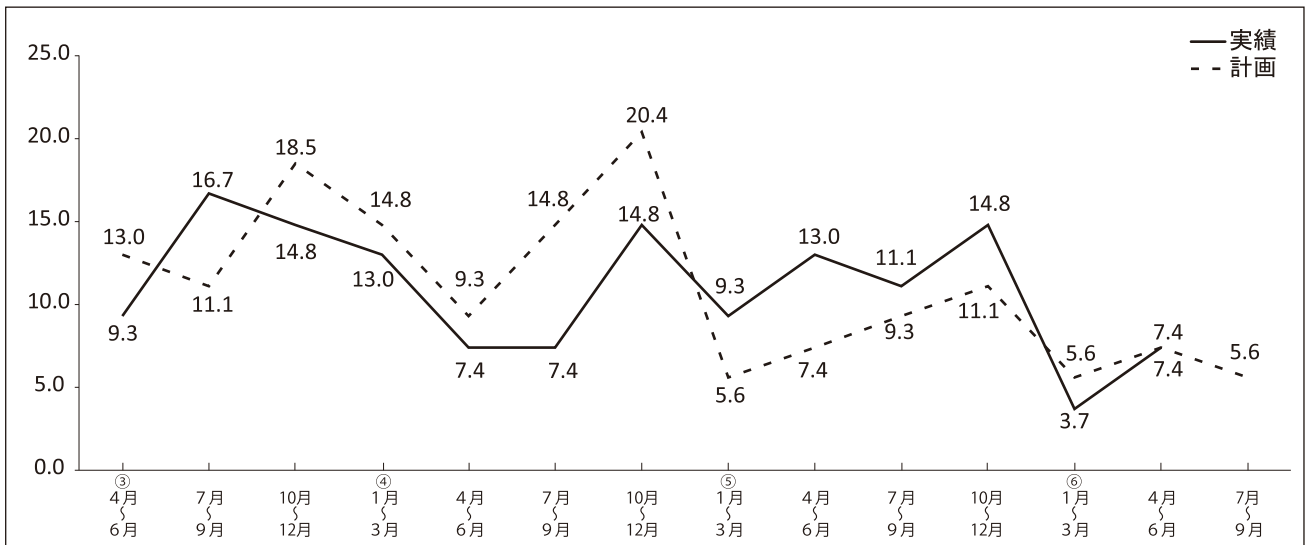
(3) 経営上の問題点の状況

＜図5-5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図5-6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表5-1＞（岡山県）新規設備投資

(%、上段：実施、下段：計画)

	3年 4月 ～6月	3年 7月 ～9月	3年 10月 ～12月	4年 1月 ～3月	4年 4月 ～6月	4年 7月 ～9月	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月
実施した 計画している	9.3 13.0	16.7 11.1	14.8 18.5	13.0 14.8	7.4 9.3	7.4 14.8	14.8 20.4	9.3 5.6	13.0 7.4	11.1 9.3	14.8 11.1	3.7 5.6	7.4 7.4	7.4 5.6
土地	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 10.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0
建物	20.0 28.6	11.1 33.3	12.5 20.0	28.6 50.0	0.0 0.0	0.0 12.5	12.5 18.2	0.0 0.0	14.3 0.0	16.7 40.0	12.5 33.3	0.0 33.3	0.0 50.0	0.0 33.3
サービス	60.0 42.9	55.6 66.7	50.0 50.0	28.6 25.0	25.0 40.0	50.0 62.5	50.0 36.4	60.0 33.3	42.9 100.0	33.3 0.0	25.0 33.3	50.0 33.3	25.0 50.0	25.0 33.3
車両・運 搬具	20.0 0.0	11.1 0.0	0.0 0.0	28.6 12.5	50.0 0.0	0.0 0.0	0.0 9.1	0.0 0.0	20.0 0.0	14.3 0.0	16.7 0.0	12.5 16.7	0.0 0.0	50.0 33.3
付帯施設	0.0 14.3	11.1 16.7	12.5 10.0	0.0 25.0	25.0 20.0	50.0 0.0	25.0 9.1	20.0 0.0	14.3 0.0	33.3 40.0	12.5 0.0	50.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0
OA機器	0.0 14.3	22.2 0.0	50.0 30.0	42.9 12.5	25.0 20.0	0.0 25.0	0.0 9.1	0.0 0.0	0.0 0.0	16.7 20.0	25.0 16.7	0.0 33.3	25.0 0.0	0.0 0.0
福利厚生 施設	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0
その他	40.0 28.6	33.3 16.7	12.5 0.0	0.0 12.5	0.0 20.0	0.0 12.5	12.5 27.3	0.0 66.7	14.3 0.0	0.0 40.0	12.5 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0
実施していない 計画していない	90.7 87.0	83.3 88.9	85.2 81.5	87.0 85.2	92.6 90.7	92.6 85.2	85.2 79.6	90.7 94.4	87.0 92.6	88.9 90.7	85.2 88.9	96.3 94.4	92.6 92.6	94.4 94.4

(5) 主要景況項目の概況

<表5-2> (岡山県) サービス業 (令和6年4月~6月)

項目名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・減少・悪化	(a) - (c)
売上 (収入) 額	今期	25.9	38.9	35.2	-9.3
	前期	25.9	38.9	35.2	-9.3
	今期-前期	0.0	0.0	0.0	0.0
	来期	24.1	48.1	27.8	-3.7
	来期-今期	-1.8	9.2	-7.4	5.6
客単価	今期	18.5	66.7	14.8	3.7
	前期	20.4	64.8	14.8	5.6
	今期-前期	-1.9	1.9	0.0	-1.9
利用客数	今期	22.2	51.9	25.9	-3.7
	前期	20.4	53.7	25.9	-5.5
	今期-前期	1.8	-1.8	0.0	1.8
仕入単価 (材料等)	今期	53.7	46.3	0.0	53.7
	前期	43.4	54.7	1.9	41.5
	今期-前期	10.3	-8.4	-1.9	12.2
採算 (経常利益)	今期	18.5	57.4	24.1	-5.6
	前期	14.8	61.1	24.1	-9.3
	今期-前期	3.7	-3.7	0.0	3.7
	来期	13.0	64.8	22.2	-9.2
	来期-今期	-5.5	7.4	-1.9	-3.6
従業員 (含臨時・パート)	今期	2.6	92.1	5.3	-2.7
	前期	7.3	90.3	2.4	4.9
	今期-前期	-4.7	1.8	2.9	-7.6
外部人材 (請負・派遣)	今期	4.8	95.2	0.0	4.8
	前期	4.0	96.0	0.0	4.0
	今期-前期	0.8	-0.8	0.0	0.8
業況 (自社)	今期	18.5	57.4	24.1	-5.6
	前期	13.0	62.9	24.1	-11.1
	今期-前期	5.5	-5.5	0.0	5.5
	来期	13.0	61.1	25.9	-12.9
	来期-今期	-5.5	3.7	1.8	-7.3
資金繰り	今期	9.3	79.6	11.1	-1.8
	前期	11.1	74.1	14.8	-3.7
	今期-前期	-1.8	5.5	-3.7	1.9
	来期	3.7	79.6	16.7	-13.0
	来期-今期	-5.6	0.0	5.6	-11.2